

## EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2008.12.1

No.53

コル・シャロームとして三原の集会に行ってきました。十一月終わりでしたが、一足早くクリスマス・コンサートでした。コンサート後、一人のご婦人と話をしました。「仏教の方は、念仏を唱えるだけでいいが、聖書の場合は、勉強をしないといけない。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

実は、念仏を唱えただけで救われる、という発想はもともとの仏教にはありませんでした。仏教を開いた仏陀は自力本願を説きました。すなわち、出家してこの世の欲を捨てて修行をし、悟りを開くというものでした。しかし、一般人には簡単にできることではありません。ですから他力本願（念仏を唱えるだけで救われる）という考えがもてはやされたのです。もう一つの理由は、出家しているはずの僧たちが、財産を持つたり、愛人をつくったりと墮落しているものがいたからだと言われています。

有名な念仏は「南無阿弥陀仏」ですが、「南無」は「帰依します」という意味で、簡単に言えば、「信じています」ということです。実は「阿弥陀仏」は人間の頭で作られた神です。

仏陀の死後、「実は仏陀より以前に七人の仏がおおり、仏陀は七番目の仏だった」という考え

## 意外なところにある聖書の痕跡



が出てきました。（これを「過去七仏」といいます）その一つが「阿弥陀仏」です。これは「無限の命、無限の光」を意味する「アマターユース、アマターバー」からつ

けられた名前です。この阿弥陀仏を信じるだけで、仏の力によって悪人さえも極楽に行けるといふ阿弥陀信仰は一、二世紀に成立しました。ちょうどこのころは聖書の考え方が広まってきたときです。このことから、もともと「神」を持たなかった仏教徒たちが、だんだん勢力を伸ばしてきたキリスト教の神に對抗する形で作り出したのがこのような仏であると言われています。

仏教徒は仏を信じ、クリスチャンはイエスを信じる、となればどちらも似たようなものと思われるかもしれませんが、しかし、大きな違いがあります。仏教の場合は、信じている仏が本物か想像上のものかあまり気にしません。「信じる対象は本物か」というより、「信じている自分の心」を重視するからです。哲学として、思想として考えついた仏でも、仏像にし、いつも名前を唱えていると実在しているもののように思えてくるのかもしれない。一方、聖書の信仰は、「信じる心」よりも「信じている対象」が本物であるかどうかを重視します。

ここで冒頭の婦人のことばにかえります。「聖書の場合は、勉強…」というのはある意味で当然の結果なのです。聖書が言っている

ことが間違いないならば、聖書を信頼していく価値はありません。だから聖書が正しいかどうか、信頼してもいいかを学ぶのです。ただ、「勉強しないといけない」のではなく、「勉強したくなる。聖書を読みたくなる」というのが本音でしょう。

聖書はキリストが死後三日目によみがえったと明確に語っています。それはイエスが単なる人ではなく、本物の救い主であることの証明であったといえます。イエスの十字架による罪の赦しが本当であったことを復活によって明らかにされたのです。最初、復活を信じられなかった多くの弟子たちも変えられました。それ以降、死をも恐れず弟子たちは「十字架による救いと死後の復活」について全世界に語っていったのです。もし、聖書が言っていることが嘘ならば、自分たちのしていることは全く無駄であると、パウロは次のように言っています。

「…キリストが復活されなかったのなら、私たちの宣教は実質のないものになり、あなたがたの信仰も実質のないものになるのです。それどころか、私たちは神に就いて偽証をした者ということになります。なぜなら、もしもかりに、死者の復活はないとしたら、神はキリストをよみがえらせなかったはずですが、私たちは神がキリストをよみがえらせた、と言って神に逆らう証言をしたからです。もし、死者がよみがえらないのなら、キリストもよみがえらなかつたでしょう。…。もし、私たちはこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。」

十一月

- 二～三日 ユースセミナー（長居ユースホステル）
- 三日 千葉の三兄弟、I兄弟来訪
- 四～六日 O姉来訪
- 十日 ホームスクーラーの集い（香芝市）
- 十五～十六日 高校卒業程度認定試験（M）
- 十六日 実用英語技能検定三級二次試験（H）
- 十八日 塗り絵・工作教室「デッサンをしよう①」
- 十七～十九日 ヨセフ・シユラム氏セミナー
- 二十～二十二日 チア・につぼん白馬セミナー
- 二十八日 合同公文教室

← ホームスクーラーの集い

↓ 白馬での読書感想文の表彰式。  
Mは「チア・につぼん最優秀賞」、  
Rは「佳作」でした。



雪だるま作り（頭の部分かな？）→

白馬セミナー

R

バスで七時間かかって、白馬に行きました。時間はかかったけどバスの中でも楽しかったです。大阪では見れない景色を見たり、お友だちとしゃべったりしていました。

白馬のホテルに着くとクリームのような雪が降っていました。去年よりも雪が多くびっくりました。四十センチ以上も積もっていたので走ることができませんでした。お兄ちゃんやびしよぬれで雪遊びやそり遊びをいっぱいやっていました。カチンコチンで自分の手じゃないみたいと言っていました。私は雪だるまや小さなまくらを作ったりしました。とてもきれいでした。

二日目はチルドレンミニストーリーで運動会をしました。つな引きやリレーをして私のチームは二位でした。

「大切な人」や「セレブレイト・ジーザス」など歌の練習もしました。子どもたちが二百人以上いるので大合唱です。

聖書のお話はナタンさんやピリポさんがしてくださって、とってもわかりやすかったです。

お友だちの弟や妹をだっこさせてもらいました。去年は歩いていなかったのに今年はずいたり走ったりしていたのでびっくりました。帰りのバスでも絶好調で元気いっぱいでした。すごく楽しい三日間でした。

高認試験受けてきました！

M

ホームスクーラーは、周りの高校生と一緒にそのままセンター試験を受けることはできません。高校卒業程度の学力があるということを確認する試験を受けます。これを略して「高認」試験と言っています。

先日、この高認試験を受けてきました。受験したのは八教科、一発で通ろうという計画です。

本当は八月に気胸が原因で受けられなかったので、リベンジになります。ですから、八月に受けるつもりで勉強していたので、楽勝でした！…と言いたかったのですが、入院・他の勉強などのブランクのため「？」というところも多かったです。「広く浅い」勉強が必要な試験なので、難しいというよりも、基本事項を覚える必要がありました。

試験勉強をやっているなかで一番思ったのは、「何を目標に設定するか？」という問いかけでした。高認は、いくら勉強が必要といっても、それほど難しくないと聞かれる試験です。この試験に合格することがゴールであるなら、まもなくゴールインできるかもしれません。確かにホームスクーラーにとって高卒認定資格をとることは一つの段階です。でも、ゴールにする必要はないと思います。

最終的に神様に用いられる人になるため、有用な勉強をこれからがんばって取り組んでいきたいと思っています。

編集後記

クリスマス・シーズン到来！日曜学校、若者の集い、中学生の集い、婦人の集い等、携わっている働きそれぞれでクリスマス会があり、その準備にてんやわんや。コル・シヤロームも三週間連続で、他集会で奉仕です。